

生態リスクCOE 第26回公開講演会

◆開催日時: 2009年6月19日(金) 15:00~17:00

◇開催場所: 横浜国立大学 環境情報3号棟101室

アクセスは下記のURLを参考にして下さい。

⇒ http://www.ynu.ac.jp/access/acc_index.html

講演者: 永井 孝志博士 (農業環境技術研究所 研究員)

演題: 「農薬の生態リスクの評価と管理」

◆講演要旨◆

はじめに、農薬の生態リスクに関する現状の管理制度と、その問題点や課題を紹介します。そして、単純に「農薬は減らせばよい or 使わなければよい」という考え方から「減らすべきは農薬ではなく農薬使用に伴うリスクである」という考え方へのシフトを提案します。

続いて、リスクの減少度合いを評価するために、確率論的アプローチを用いた生態リスクの定量化手法を開発したので、その手法を用いた除草剤のリスク評価事例を示します。

また、このリスク評価手法を応用して、農薬の種類や施用法の違いによるリスクトレードオフ解析を行った結果も示します。

最後に、リスク評価を意思決定につなげるための今後の展望についても話したいと考えています。

主催: 横浜国立大学グローバルCOE プログラム
「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」
(生態リスクCOE)

◎連絡先: 240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7
横浜国立大学環境情報研究院グローバルCOE(生態リスク)
担当: 松田

電話/FAX: 045-339-4497 E-mail: er-coe3@ynu.ac.jp